



関ロータークラブ

RI会長 / バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう "Be The Inspiration"

53代会長 / 加藤浩二

2018-19年度 関ロータークラブ会長テーマ

行動しよう! 情熱を持って

会長 加藤 浩二

副会長 大岩寿喜子

幹事 林 昇

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

Rotary



本日のプログラム 第 2513 回例会 2018 年 8 月 26 日 (日)

『納涼例会・BBQ』 於：郷部会館



前例会の記録・第 2512 回 8 月 21 日(火)12:30

『地区研修セミナーの報告』

福田春彦さん・伊佐治啓司さん・三輪雄彦さん

- ◆開会点鐘
- ◆「我らの生業」斉唱
- ◆会長挨拶



7 月 7 日に起きた豪雨災害に対する報告です。皆様にご協力いただき今回の災害に対し義援金を募集させていただいたところ 455,000 円もの義援金を寄付させていただくことができました。それに対して関市から感謝状を頂きました。更には、関市納涼花火大会の会場の清掃活動に際して関市環境課、福祉課、岐阜

新聞 中濃総局からお礼の言葉をいただきました。

さて、本日はロータリーの徽章(Emblem)についてお話しします。世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905 年のロータリー誕生の年に生まれています。初期の頃からずっと、車輪がロータリーのシンボル(象徴)とされてきましたが、1923 年(95 年前)に現在の 24 の輪の歯と 6 本の編のある歯車が国際ロータリーによって採用されました。これに対しエンジニアのメンバーの方から、この歯車は機械工学的に歯車の中心に「楔穴(クサビアナ)」がないとうまく回らないだろうという技術的な話が出て、この楔穴が追加され、現在私たちの知るデザインが国際ロータリーの公式標識として正式に採用されるに至りました。ロータリーのエンブレムの着用は、会員はもちろんですが、その家族をも着用を許されていて、ロータリアンの証であると共に、その責任を表しています。1993 年 1994 年度 RI 会長ロバート R・バース氏は、1993 年の国際協議会で次のように述べられました。ロータリアンがエンブレムをつけているときは、次のことを意味しています。『あなたは、私を信用していただいても結構です、私は信用に値する者です。私の用意はできています。何時でも、あなたのために奉仕できます。

私は受ける以上のものを、あなたに与えます。私は人のために奉仕します。』というものです。登壇する時、国旗、ロータリー旗に一礼します、それは当たり前にする事です。例会場に入る時、必ず一礼をして入る先輩がお見えになります。高木守道杯の大会時、子供達選手はグラウンドに入る時、気持ちよく帽子を脱ぎ一礼して入ります。素晴らしいマナーで連盟の方々やコーチの教育が素晴らしいと思いました。野球選手にとって野球グラウンドは神聖な場所です。私は日曜テニスをしています、テニスコートに入る時もそうです。例会場も当然同じくらい礼儀を弁える大切な場所です。本来のロータリアンとしての資質を再確認し私自身も身につけて行きたいと思えます。皆様も、例会場、大会会場においては当然のこと、また例会場以外のところでも品格と胸を張ってローターバッチを着用していただきますようお願いいたします。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 宮本卓比郎

会員 50 名中 出席 25 名 出席率 51.03%

◎ニコボックス委員会 委員長 酒井泉

会長・副会長・幹事の皆さん・・・8 月に入った途端、台風に猛暑とイレギュラー続きで、久々の通常例会です。今週末より、家族例会(BBQ)にはじまり、早朝例会、タグラグビーと立て続けの事業展開ですが気を引き締め、しくしくとすすめてまいりますのでよろしくお願ひします。地区研修セミナーにご出席の皆さん大変ご苦勞様でした。報告担当の伊佐治さん、三輪さん、福田さんよろしくお願ひします。

西本理美さん・・・本日は地区研修セミナーの報告、伊佐治さん、福田さん、三輪さん、よろしくお願ひします。睡魔に勝ち取った報告楽しみにしています。

今峰、長尾、杉浦、常川、大岩、木村、臼田の皆さん・・・7 月 17 日に尾崎嘉彦さんのホストで IGM が開催されました。場所は、味里というお寿司屋さんで、ホストの尾崎さんが差し入れてくれた大吟醸『獺祭』が加わり、大変おいしい食事とお酒をいただきながら充実した IGM が開催できました。尾崎さん、あり

がとうございました。

堀部哲夫さん…8月11日が誕生日でした。バースデーカードをいただきありがとうございました。

酒井泉さん…2カ月ぶりにロータリーに出席しました。顔を忘れられていないか心配でしたが、覚えていただいていた嬉しかったです。家内が今日、誕生日です。先日はバースデーカードをありがとうございました。おかげで、忘れずにすみました。

◆IGMの報告 報告者： 臼田龍司

日時：7月17日（火）18：30

場所：味里 ホスト：尾崎嘉彦

R情報：今峰徹 リーダー：長尾一郎

義務出席者：杉浦孝志・常川孝義・大岩寿喜子

特別出席者：木村聡・臼田龍司

◆『情報委員会・職業奉仕委員会・合同研修セミナーの報告』 報告者：福田春彦



7月29日岐阜都ホテルにて合同研修セミナーが開催され、開会点鐘・ロータリーソング、特別出席者紹介のあと、6月22日に亡くなられた服部芳樹パストガバナーを偲んで黙祷が行われました。次に劔田研修委員長から今回の趣旨の説明があり長い歴史のあるロータリーの伝統を大切に、今一度

理念・理想・歴史を顧みて、今の現実を正しく評価して行こうと言う事でした。その後、基調講演「ロータリアンはどんな人」というお話を服部芳樹パストガバナーに代わり、北川宥智さんが、代読されました。長いお話でしたので、心に残った個所を紹介させていただきます。ロータリーの綱領（目的）の中に、ロータリアンとしてのあるべき姿が書かれています。人の現行は、心に従って現れる。ロータリアンの現行も心に従って現れる。ロータリーの目的のひとつである奉仕、中でも職業奉仕、最も中核となる職業奉仕とは、例会に集まり職業倫理を高め、各職業の中で能力を活かす。それが職業奉仕の第一位です。その上で各能力を集めて社会奉仕として、団体で活動する。両者が、あってこそ職業奉仕が成り立っていくのです。四つのテストとロータリーの目的、決議23-34の1この三つをそれぞれのクラブで掲げて欲しい。これらが、服部先生が伝えたかった内容でした。午前中は服部先生のお話で終わり、午後から劔田研修委員長より日本のロータリーの伝統について講演があり、日本のロータリーの伝統的な考え方として①「和魂洋才」日本古来の精神を大切にしつつ、西洋からの優れた学問・知識・技術などを取り入れ、両者を調和・発展させていくと言う意味ですが、この考えは職業奉仕の精神に相通じています。②「陰徳陽報」人知れず善行を積みば必ず良い報いとなって現れてくる。ロータリーは目に見えない物を大切にします。③例会の目的は分ち合いの

精神で、事業の永続性を図り自己改善をしていくことです。よって例会への出席は人生の道場で有ります。結論として、日本のロータリー百年の伝統に忠実に基本を大切にと言う事でした。次に鈴木ガバナーより「私の考えるロータリー」の講演がありロータリーの歴史そしてロータリーの目的の解説ロータリーの目的=立派なロータリアンとしての生き方ロータリーにとって欠かすことができない最も重要な価値観は「奉仕・親睦・修養」三つでした。ロータリーの喫緊の課題は、クラブの奉仕 クラブの運営に磨きをかける内容のお話でした。その後 職業奉仕や会員増強について活発なディスカッションが行われ合同研修セミナーは盛況のうちに閉会しました。11時から5時までのお話の中で共通していたのは例会に出席する事の大切さでした。このことを肝に命じて精進していきたいと思えます。

◆『情報委員会・職業奉仕委員会・合同研修セミナーの報告』 報告者：伊佐治啓司



昨年に続き三度目の職業奉仕セミナーを受けて参りました。昨年アドバイザーとして職業奉仕の貴重な解釈説明をなされた服部芳樹氏のご逝去なされた事から追悼の黙祷を行い、服部氏葬送の儀の導師をなされたお坊さん「北川宥智氏」より服部氏存命時最後のメッセージを託された形で職業奉仕の理念

と解釈の講演が行われました。午後からは山形の第2800地区、前年度ガバナー鈴木一作氏から同様に職業奉仕とロータリアンとはどの様なものであるかの解釈がなされました。社会的地位も既に有り、実績も名誉も金も有るロータリアン。その2630地区の会員が、遠方は三重県より貴重な休日の一日を費やしてまで一堂に会し、職業の崇高性や奉仕活動の意義を今更ながらに説法を聞くが如くの為に集まっている、とはとても思えず不思議でなりませんでした。私が三回のセミナーを受けて導いた結論は単純なものです。それは、「ロータリアンはロータリアンで有る事に意義がある」 職業奉仕活動も社会奉仕活動も、「ロータリアンとして活動するからロータリアンなのだ」と言う事が全てです。ですから今更、職業奉仕の意義や解釈論の為に貴重な時間を費やすのではなくロータリアンとしての絆を深める「素晴らしきかな ロータリアン」などの集会にして欲しいと感じました。会員を増強する事に主眼を置く様に変化しているRI及び各クラブは、旧来の価値観と新しい価値観が交錯して親和性の無い状況になっているのだろうと感じました。最後にフリートーク質疑応答で、岐阜の女性会員から「柳ヶ瀬に務める女給の仕事が卑しく同じ女性として惨めになる」との発言や「岐阜の女性は教育の程度も未だ低く、社会的地位及び職業が卑しい」などと、職業に貴賤

なく尊い生業であるべきその職業の従事者を差別し、女性の社会的地位を女性自らが貶める様な時代錯誤と驕り高ぶり、そして人を見下した様な良識の無さと、著しい偏見の価値観がロータリアンの中に存在する事に驚愕致しました。この様な価値観が述べられても、それを諭す様な意見を述べられる幹部が居なかった為ロータリアンは全て同様の価値観を有している様に感じられ、やはりこの様な意見にはベテランロータリアンから適切なコメントが頂きたいと願った次第です。

◆『ロータリー財団地区研修セミナーの報告』

報告者：三輪雄彦



冒頭、剣田パストガバナーより御挨拶。以前は世界的に見てロータリーは先進国のものだったが、今では世界のロータリーメンバーの約30%は新興国となりました。アジアでは日本以外のインド、韓国、フィリピン東南アジア諸国ではほぼ増加していますが、世界的には会員減少の問題と直面しているのが現実ですとの事でした。21世紀のロータリーの戦略的計画はロータリー

は強固な世界ネットワークを活用して手厚い人道奉仕を行い認知度を上げて、それを会員募集活動にし、会員を増やして行こう！という考えです。因みにロータリーの世界での評価、アメリカの報道機関「CMBC」において世界を変えた慈善団体として第4位にランキングされるなど高い評価を得ているとの事でした。ロータリーが行う世界的人道支援活動の一つがポリオ撲滅に向けた活動です。ポリオとは、日本では小児まひと呼ばれる病気で特に5歳未満の子供に感染しやすい病気です。感染しても多くは風邪程度の症状しか出ませんが1000~2000人に1人は手足に重度の麻痺が残るなどの後遺障害が残ります。日本では既に30年前から患者は出ていませんがそれは子供の頃にワクチンを接種しているからで、今でもワクチンを辞めてしまうと必ず感染者が出ると言われます。ポリオウィルスは人から人へ感染します。最も多い感染経路は汚染水を通じた感染です。ですので発展途上国の衛生環境、また栄養状態が悪い地域で未だ生息しています。現在世界のポリオウィルスは1988年以来、発症数は99.9%減少しました。しかし未だアフガニスタン・パキスタン・ナイジェリアの3つの国で撲滅できてない状況が続きます。今ここで撲滅運動を辞めてしまうと今後10年で世界で20万人の子供が感染するといわれています。ポリオは自国でワクチンの制度が確立されていない途上国が中心です。どうしても世界的な援助が必要ですがその資金は莫大です。世界の子供たちに70カ国2億5000万人に必要なワクチン投与をする為に必要な資金は55億円とされています。寄付金活動を行うロ

ーターリーに対して、更にマイクロソフトの創始者ビルゲイツ氏のビルゲイツ財団は2013年~2018年の期間において、ロータリーで集めた寄付金に対してその2倍の資金を財団が上乘せするというカタチで支援頂いています。ロータリアンはこれまで、122カ国、20億人以上の子どもたちへのポリオ予防接種を支援してきました。わずか60円ほどのワクチンで、一人の子どもを生涯、ポリオから守ることができます。今回改めてポリオの恐ろしさ、ポリオワクチンの重要性を知り、先輩ロータリアンが行ってきた寄付金活動の素晴らしさに自身も誇りを持つことが出来ました。私達ロータリアンはもっともっと自分たちの寄付金が大きな成果を上げていることを知る必要がありますし、ポリオについてもっと学び、それをシェア、人に伝え、そして自ら寄付をする事が必要で、もしかするとロータリアンである最低限の振る舞い、素養ではないかとも思いました。ロータリーには寄付金の額によって、ロータリー財団から感謝の意を表す制度があります。ポール・ハリスフェローはロータリー財団に1000ドル以上を寄付すると与えられる称号です。世界には既に100万人以上がみえるそうですが、私もポール・ハリスフェローになる事を宣言し財団セミナー報告とさせていただきます。

◆第4回米山功労者表彰（累計40万円達成）



早川力さん

◆幹事報告

- ◎9月の例会予定表配布
- ◎例会終了後『理事、役員会』開催
- ◎9月のロータリーレート 1ドル：112円

次例会のご案内 7月28日(土) 17:00
 「納涼例会・BBQ」
 於：郷部会館 担当：親睦活動委員会

 例会：毎週火曜日 12:30
 例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
 事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F